

稿本 高橋伸幸教授主要著作目録

大 森 郁 之 助 編

凡 例

- 一、本目録は 一 単行本 二 単行本所収 三 紀要・雑誌等所載の三部から成り、三はさらに i 本務校紀要・所属学会誌の類 ii その他に分ける。故教授の所属学会誌・研究同人誌が本務校への報告分のみで十七種を数えるゆえである。
- 二、平成七年十月末現在で刊行予定であるものには、題名の頭字傍に\*を付して示した。
- 三、著書名・論文等題名は故人生前の信条に従って、原著・原誌の表記に係らず漢字はすべて正字体とした。猶、それ以外は当用字体に統一した。

一 単 行 本

- 東寺執行本平家物語 〱上〱 (共著)
  - うもれ木文庫 昭和三十八年
- 古記録學資料集 〱上〱 〱中〱 〱下〱 (共編)
  - うもれ木文庫 昭和三十九年 〱 四十年
- 東寺執行本平家物語 〱下〱 (共著)
  - うもれ木文庫 昭和四十年

長門本平家物語割記

名著刊行会 昭和五十年九月

岡田希雄舊藏本節用集 (共著) 葉山書院 昭和五十年十二月

諸本三寶繪集成 (小泉弘と共著) 笠間書院 昭和五十五年六月

百人一首峯梯 (編)

和泉書院 昭和五十六年十月

名古屋博物館藏三寶繪 (解説・翻刻版) (小泉弘・山本裕子と共著)

名古屋博物館 平成元年九月

二 単行本所収

平家物語讀み方參考資料

平家物語全注釈・下卷 (二) 角川書店 昭和四十三年八月

猿投神社藏「地藏講式」「説經資料」(解題・翻刻)

愛知県史料叢刊第一回・猿投神社文書一 同刊行会 昭和四十三年十一月

「武家名目抄」(文書部)の古文書學的考察

真字本の用字——『大塔物語』の形容詞から——  
塙保己一記念論文集 温故学会 昭和四十六年三月

今泉博士古稀記念国語学論叢 桜楓社 昭和四十八年三月

榮花物語の虚構

鑑賞日本古典文学第十一卷・榮花物語・紫式部日記  
角川書店 昭和五十一年四月

「増賀上人行業記」の研究——成立背景と典據をめぐって——

伝承文学の視界 三弥井書店 昭和五十九年十月

「百人一首新抄」覺書

塙保己一論纂・下卷 錦正社 昭和六十一年十月

「神道集」本文筆録年次に關する問題——「平家打聞」との關係を廻つて——

神道大系・文学篇一 神道大系編纂会 昭和六十三年二月

平家物語——複合思想としての宗教

庶民仏教と古典文芸 世界思想社 平成元年五月

卷八第一話「役行者事」／卷八第五話「永觀事」

私聚百因縁集の研究・本朝篇(上) 和泉書院 平成二年八月

宗教と説話——安居院流表白に關して——

説話と宗教(説話・伝承学92) 桜楓社 平成四年四月

人間の死と救済——佛教説話に於ける

説話——救いとしての死 翰林書房 平成六年四月  
當麻寺創建説話の展開——當麻國見真人系縁起を中心に——

仏教文学講座第六卷・僧伝・寺社縁起・絵卷・絵伝

\* 語り物の變容——將門記と將門傳説——

勉誠社 平成七年八月  
講座日本の伝承文学第三卷・散文文学の世界(物語)  
三弥井書店 平成七年十月(予定)

\* 説話の證——往生傳・高僧傳など——

同右第四卷・散文文学の世界(説話) 同右 平成八年二月(予定)

三 紀要・雑誌等所載

i 本務校紀要・所属学会誌の類

札幌大学教養部・女子短期大学部紀要

「重衡虜」の傳承背景と「平家物語」に於ける成長過程

第七号(昭和五十年三月)

古本節用集人名門小考(上)——中國人畫家人名を中心に——

第九号(昭和五十一年九月)

半井本平治物語「翻刻」——内閣文庫本・彰考館文庫本對校——

第十号(昭和五十二年三月)

同 右

第十一号(昭和五十二年九月)

水府明德會 彰考館所藏 南都本平家物語「翻刻」

第十二号(昭和五十三年三月)

同 右

第十三号(昭和五十三年九月)

同 右

第十四号(昭和五十四年三月)

同 右一四一

第十六号 (昭和五十五年三月)

同 右一五一

第十七号 (昭和五十五年九月)

南都本平家物語總目次〈小増補系三本記事對照表〉

第十八号 B (昭和五十六年三月)

内閣文庫 藏増補系平家物語零本に就きての研究 (本文篇)

第十九号 B (昭和五十六年九月)

古本節用集人名門小考 (中) —— 中國人畫家人名を中心に ——

第二十号 B (昭和五十七年五月)

## 札幌大学女子短期大学部紀要

『天竺往生驗記』追考

第二号 (昭和五十八年九月)

『私聚百因緣集』『大經直談要註記』等の説話末尾に記載される割註の一種について

第四号 (昭和五十九年九月)

當麻寺創建説話の展開

第九号 (昭和六十二年二月)

場所請負人飛驒屋久兵衛に關する研究 —— 飛驒屋武川久兵衛家所藏古文書目録① —— (秋田俊一・三ツ木芳夫と共著)

第十四号 (平成元年九月)

同 右②

第十六号 (平成二年九月)

同 右③

第十九号 (平成四年二月)

『普通唱導集』所引の往生傳について —— 震丹往生人 ——

第二十号 (平成四年九月)

場所請負人飛驒屋久兵衛に關する研究 —— 飛驒屋武川久兵衛家所藏古文書目録④ —— (秋田俊一・三ツ木芳夫と共著)

同 右

皇子降誕に伴ふ恩赦の一形態について

第二十二号 (平成五年九月)

場所請負人飛驒屋久兵衛に關する研究 —— 飛驒屋武川久兵衛家所藏古文書目録⑤ —— (秋田俊一・三ツ木芳夫と共著)

第二十三号 (平成六年三月)

## 史料と研究 (古文書古記録学会) ↓ 札幌大学高橋研究室)

日本思想大系 往生傳・法華驗記 人名索引

第四号 (昭和五十年六月)

釋文 吾妻鏡略解 治承四年四月、八月、

第五号 (昭和五十一年二月)

同 右 治承四年八月、廿三、廿五日

第六号 (昭和五十一年十月)

同 右 治承四年八月廿五日、九月九日

第七号 (昭和五十二年五月)

春日權現驗記繪 (漸入佛道集) 人名索引

第八号 (昭和五十三年一月)

古筆切考證 (三・四・五)

同 右

田邊孝男古筆手鑑「むさし野」目録

同 右

古筆切考證——源氏物語切——

第九号 (昭和五十三年八月)

釋吾妻鏡略解治承四年九月九日、川日

同 右

古筆切考證——源氏物語切——

第十一号 (昭和五十六年五月)

釋吾妻鏡略解治承四年十月一日、十七日

第十二号 (昭和五十七年八月)

古筆切考證——源氏物語切——

同 右

釋吾妻鏡略解治承四年十月十八日、廿日

第十三号 (昭和五十八年一月)

「金言類聚抄」の本文を廻つて

第十四号 (昭和五十九年四月)

【諸本三寶繪集成】補遺

第十五号 (昭和六十年五月)

古筆切考證——源氏物語切——

同 右

影聖財集

第十六号 (昭和六十一年五月)

「標題說話」覺書——「聖財集」の說話を通して——

同 右

【諸本三寶繪集成】補遺(二)

同 右

「放光菩薩記」本文の校訂

第十七号 (昭和六十二年六月)

古筆切考證——源氏物語切——

陀羅尼菩薩について

同 右

第十八号 (昭和六十三年十月)

【諸本三寶繪集成】補遺(三)

同 右

「要約說話」管見

第十九号 (平成元年六月)

「要約說話」管見(承前)

第二十一号 (平成二年十月)

影伊達市開拓記念館藏金春流謠本(一)

第二十二号 (平成三年六月)

同 右(二)

第二十三号 (平成四年六月)

「主馬判官物語」——翻刻と研究——

第二十四号 (平成七年三月)

影伊達市開拓記念館藏金春流謠本(三)

同 右

【諸本三寶繪集成】補遺

同 右

解 釈 (解釈学会)

平治物語の漢楚合戦

昭和四十年三月号

「夜の寢覺」に於ける間投助詞「を」の希求法に就きて

昭和四十一年四月号

平家物語の「なつく」に就きて

「堆し」の清濁  
昭和四十一年十二月号

「榮華物語」の史的一考察——卷十六〈本の零〉の一節をめぐって——  
昭和四十三年十二月号  
昭和四十五年三月号

説話文学研究（説話文学会）  
「瑠玉集」の逸文一條  
第二十五号（平成二年六月）

中世文学（中世文学会）

「私聚百因縁集」の出典に關する報告  
第二十六号（昭和五十六年十二月）  
講經の中の説話  
第三十六号（平成三年六月）

伝承文学研究（伝承文学研究会）

「神道集」本文の研究——「日本書紀私見聞」（春瑜本）との關係を廻つて  
つて  
▲上▼

第十五号（昭和四十八年十二月）  
輪講「私聚百因縁集」卷八 第一話「役行者事」  
第十六号（昭和四十九年七月）

「神道集」本文の研究——「日本書紀私見聞」との同文關係を廻つて  
▲下▼

第十八号（昭和五十年十一月）

輪講「私聚百因縁集」卷八 第五話「永觀事」

同 右

平家物語「重衡被斬」研究序説——「重衡と北方との再會」を廻る平家物語諸本の成長過程——（上）

第二十号（昭和五十二年七月）  
同 右（下）

第二十一号（昭和五十三年三月）  
「平家物語の斷簡」續貂

第二十五号（昭和五十六年四月）  
（書評）村上學著「曾我物語の基礎的研究」

第三十一号（昭和六十年五月）  
増補系の周邊——「源平盛衰記」と「源平鬪諍録」との關係を廻つて——

（「▲シンポジウム▼」平家物語と〈京・鎌倉〉）  
第三十七号（平成元年十二月）

日本文学論究（国学院大学国文学会）

「四部合戦狀本平家物語」の「裏書」——「刀後聞」と「平家族傳抄」——  
第二十九册（昭和四十五年十一月）

日本歴史（日本歴史学会）

源平盛衰記出典攷續貂——「後徳記」を廻つて——  
昭和五十年五月号

## 仏教文学（仏教文学会）

【小阿彌陀經私抄】所引の和歌と説話

第十二号（昭和六十三年三月）

【法華懺法私】所收の説話——【注好撰】の引用を中心に——

第十九号（平成七年三月）

猶、次の所属学会誌には今回掲載稿を見出し得なかった。

訓点語と訓点資料（訓点語学会） 国語学（国語学会） 国語研究

（国学院大学国語研究会） 国史学（国史学会） 古代文化（古代学

協会） 古文書研究（日本古文書学会） 説話・伝承学（説話・伝承

学会） 地方史研究（地方史研究協議会） 歴史地理学（歴史地理学

会）

## ii その他

國學院大學圖書館藏「古今著聞集」に就きて

ぐんしよ 第三十一号（昭和三十九年十一月）

大東急記念文庫藏 通憲入道藏書目録について——上——群書類従との

對校

かがみ 第十号（昭和四十年三月）

平家物語に於ける忠盛の歌に就きて——平家物語成長過程の一断面——

国学院雑誌 昭和四十一年三月号

【平家物語】卷一の構造

国学院大学中世文学会紀要・学鵬 創刊号（昭和四

十二年二月）

忠盛を廻る和歌説話の考察——平家物語成長過程の一断面（承前）——

国学院雑誌 昭和四十二年九月号

「忠盛死去」を廻る成長過程の研究——原平家二元論の可能性を追求し

て—— 風信 創刊号（昭和四十二年十二月）

大東急記念文庫藏 通憲入道藏書目録について——中——群書類従との

對校——

かがみ 第十二号（昭和四十三年三月）

得長壽院造進に對する忠盛への勸賞に就きて

国語国文 昭和四十三年十一月号

兼好法師と「平家物語」

風信 第四号（昭和四十四年二月）

「榮華物語」が描く寛仁四年——文學に現れた史實の追求——

国学院雑誌 昭和四十四年十月号

「榮華物語」の方法

国語国文 昭和四十五年一月号

「平家物語」に於ける二條院崩御を中心とする章段群の研究

国学院大学中世文学会紀要・学鵬 第二号（昭和四

十五年二月）

「南都異本平家物語」割記

同 右

大東急記念文庫藏 通憲入道藏書目録について——下——伏見宮家舊藏

本との比較「含伏見宮家舊藏本全文翻刻」

かがみ 第十四号（昭和四十五年三月）

（書評）今成元昭氏著「平家物語流傳考」

国学院雑誌 昭和四十七年二月号

「神道集」本文の研究——「類聚既驗抄」〈神祇十〉との關係を廻つて

- 皇学館論叢 五卷一号（昭和四十七年二月）  
 （書評）福田晃著「軍記物語と民間傳承（民俗民藝叢書66）」  
 国学院雑誌 昭和四十八年二月号
- 「四部合戦本平家物語」に存する合點の意味——「平家打聞」との關係を廻つて——  
 国語国文 昭和五十一年八月号  
 堂上貴紳の平曲享受——鎌倉末から室町前期にかけて——  
 国文学解釈と鑑賞 昭和五十七年六月号  
 源平盛衰記の記述矛盾——「鹿谷酒宴」を廻つて——  
 土車（平安博物館だより） 第三十八号（昭和六十年四月）  
 平家物語のテキスト・南都本  
 国文学解釈と教材の研究 昭和六十一年六月号  
 定家自筆「奥入」の斷簡紹介とその切斷時期推定  
 国語国文 昭和六十一年十一月号
- 「小阿彌陀經私抄」所引の「注好選」  
 いずみ通信 第九号（昭和六十一年十一月）  
 同 右（二）
- 同 右 第十一号（昭和六十三年十月）  
 【平家物語】の「語り」と「読み」  
 国文学解釈と鑑賞 昭和六十三年十二月号  
 「吾妻鏡」——その成立と編者——  
 同 右 平成元年三月号
- 【江都督納言願文集】總目次附割記  
 汲古 第二十号（平成三年十二月）  
 三條西實隆——中央と地方との文化交流  
 国文学解釈と鑑賞 平成四年三月号
- 浄土系直談と説話——標題説話の背景（上）——  
 大谷学報 七十一卷三号（平成四年七月）  
 同 右（下）——  
 同 右 七十一卷四号（平成四年八月）  
 「私聚百因縁集」所收説話の出典と同話  
 国文学解釈と鑑賞 平成五年十二月号  
 （本目録稿の作成に当り、高橋素子夫人、木村真佐幸・田中幹子・渡邊昭五各氏および和泉書院・汲古書院・勉誠社各編集部に資料の提供を仰いだ。付記して謝辞に代える。）